

1. 教育計画

基礎看護学

分野	専門分野Ⅰ 基礎看護学	科目名	基礎看護技術Ⅵ (診療に伴う援助技術1)
単位・時間	1単位・30時間(授業28時間)	対象学年	2年生
方法	講義、演習	時期	全期
講師名(担当時間数)	診療・検査に伴う看護、治療・処置に伴う看護、救命救急処置技術、呼吸・循環を整える技術 専任教員 半谷 みゆき (16時間) 感染防止の技術 法人講師 加藤 和枝 (4時間) 生体情報のモニタリング 法人講師 二上 倫嗣 (2時間) 生体機能管理技術 法人講師 春日 美由起 (2時間) X線撮影検査(画像の見方) 法人講師 佐々木 鮎美 (2時間) 輸血管理 法人講師 青山 克明 (2時間)		
講師の実務経験	看護師として星ヶ丘病院に4年、星総合病院に6年		
学習目標	診療に伴う基本的な知識と援助技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験 筆記試験100点(半谷 みゆき) *授業での提出物・演習態度も評価に加味します。		
使用テキスト*購入	医学書院 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディックメディア 看護技術がみえる① 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる② 臨床看護技術		
参考文献 *非購入			
履修上の留意	*演習で実習室使用時は原則白衣着用となります。		

2. 授業計画

回	時間	学習項目	学習内容	形態	担当	備考
1	2	救命救急 処置技術	1. 心肺蘇生法 2. 止血法 3. 救急カート	講義	半谷	
2	2	苦痛の緩和 安楽確保の 技術	1. 薬剤調整 2. 巻法 1. 体位保持、(8、9回の排痰ケアの体位 ドレナージも含めて学習する)	講義 演習 実習室	半谷	
3	2	創傷管理 技術	1. 創傷治癒過程とそのメカニズム 2. 創傷処置 3. 褥瘡予防	講義	半谷	
4	2		1. 包帯法、三角巾固定	講義	半谷	

回	時間	学習項目	学習内容	形態	担当	備考
				演習		
5	2	感染防止の技術	1. 感染防止の基礎知識 2. 標準予防策 3. 感染経路別予防策 4. 洗浄・消毒・滅菌 5. 感染性廃棄物の取り扱い 6. カテーテル関連血流感染対策	講義	加藤	
6	2	感染防止の技術	1. スタンダードプリコーション 手洗いの演習	講義 演習	加藤	
7	4	呼吸循環を整える技術	1. 酸素吸入法 2. 口腔・鼻腔内吸引 3. 持続吸引（胸腔ドレナージ） 4. 排痰ケア 5. 吸入 6. 人工呼吸法 7. 末梢循環促進ケア	講義	半谷	
8						
9	4	呼吸循環を整える技術	1. 酸素吸入法 2. 口腔・鼻腔内吸引 3. 持続吸引（胸腔ドレナージ） 4. 排痰ケア 5. 吸入 6. 人工呼吸法 7. 末梢循環促進ケア	演習	半谷	
10						
11	2	生体情報のモニタリング	1. Spo ₂ モニター（パルスオキシメーター） 2. 血管留置カテーテルモニター	講義	二上	
12	2	症状・生体機能管理技術	1. 検体検査 2. 生体検査 超音波検査、心電図検査、肺機能検査	講義	春日	
13	2	症状・生体機能管理技術	1. 生体検査（画像の見方） X線撮影、CT、MRI 2. 放射線暴露の防止	講義	佐々木	
14	2	輸血の管理技術	1. 血液細胞の役割 2. 血液細胞不足時の補助的療法 3. 輸血用血液製剤の種類と各製剤の使用目的について	講義	青山	
15	2	評価	筆記試験		半谷	